

2021年8月17日
ドルビー・ジャパン株式会社

**「Dolby Atmos®（ドルビー・アトモス）」を用いた
イマーシブ・サウンドプロダクション（音楽制作）を推進する
Dolby Atmos Music Creator's Summit**

ドルビー・ジャパン株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：大沢幸弘)は、近年、ミュージック領域での採用が拡大しつつある立体音響技術「ドルビー・アトモス」を用いた音楽制作を推進する「Dolby Atmos Music Creator's Summit」特設サイトをオープンしました。

当サイトは、「ドルビー・アトモス」を用いたイマーシブ・サウンドプロダクション（音楽制作）、及び楽曲リリースをサポートするために、録音・ミックス・マスタリング・エンコーディング等のワークフローを分かりやすく解説し、「ドルビー・アトモス」導入に必要な制作ツールや対応再生機器等の最新情報を発信いたします。

また、「ドルビー・アトモス」ミックス楽曲を制作された実績のある著名なエンジニアの方々（後述）のインタビューもお届けいたします。「ドルビー・アトモス」による音楽制作の体験談、コツ、そしてイマーシブサウンドの可能性に至るまで大いに語っていただきます。

ドルビー・アトモス ミュージックは、芸術的な表現を最大限に発揮することで、アーティストとファンとの絆をより深くする全く新しい音楽の制作と体験を実現します。ドルビー・アトモス ミュージックは、曲に完全に没入することで通常のリスニング体験を超え、比類のない明瞭さと深さでディテールを表現します。それはアーティストが抱くビジョンを完全に実現し、リスナーに新しいレベルの感情を解き放つために、より多くのスペースと自由を与えます。あなたの周りを動き回る多重奏であっても、歌詞の間に吹き込まれる微妙な吐息であっても、滝の様に押し寄せるメロディーであっても、ドルビー・アトモス ミュージックはあなたを音楽の中心へと誘い、完全に没入する音楽体験を可能にします。

ドルビー・ジャパン(株)代表取締役社長、大沢幸弘は、次のように述べています。
「近年、ミュージック領域におけるイマーシブサウンドの採用が広がりつつある中、音楽業界関係者の方々から、『どうしたら導入できるのか?』といったお問い合わせを多数いただいております。その声にお応えする形で、この度「ドルビー・アトモス」を用いた音楽制作に関する情報を網羅的にカバーした本サイトを立ち上げる運びとなりました。日本におけるイマーシブ・サウンドプロダクションの普及、ひいては日本の音楽業界発展の一助となることを切に願っています。」

詳細情報は特設サイト(<https://www.dolbyjapan.com/musiccreatorssummit>)をご参照ください。

記

【当サイトの概要】

1. Dolby Atmos Music ワークフロー紹介

「ドルビーアトモス」を用いた音楽制作について、録音、ミックス、マスタリングコード、配信、といった制作工程から、エンドユーザーが実際に試聴するために必要な対応民生機器などを紹介いたします。

2. Dolby Atmos Mix ツール紹介

パートナーであるデジタル・オーディオ・ワークステーション(DAW) メーカー様・販売代理店様の製品ページも設置。「ドルビーアトモス」ミックスに必要なツールを紹介いたします。

3. Dolby Atmos Mix 体験談インタビュー

「ドルビーアトモス」を用いて楽曲をミックス・制作された実績のある著名なエンジニアの方々（以下詳述）に、「ドルビーアトモス」の利点、制作の体験談 / コツ、そして可能性について語って頂いたインタビュー動画を随時公開していきます。

GOH HOTODA 氏

■ 略歴



1960 年生まれ。東京都出身。アメリカシカゴでキャリアをスタートし、1987 にニューヨークに移り 1990 年 Madonna の『VOGUE』のエンジニアリングを務め、今ではポピュラーとなったハウス・ミュージックの基盤を作った。その後ジャネット・ジャクソン、松任谷由実、宇多田ヒカルなどの一流アーティストの作品を手がけ、トータル 6000 万枚以上の作品を世に送り出す。2 度のグラミー賞受賞作品など世界的にも高い評価を受けている。現在は Dolby Atmos 対応のミックスとハイレベルなマスタリングスタジオを可能とした第 3 世代目となる studio GO and NOKKO を所有。

■ ドルビーアトモス ミックス作品

・[2020.9.20NOKKO LIVE『廃墟の夜～spin-off episode 1～』](#)

■ 公式サイト

[Goh Hotoda Official Site](#)

古賀 健一 氏

■ 略歴



1983 年 12 月 7 日生 福岡県出身。
TSM 葛西 ~ 青葉台スタジオを経て 2014 年 独立と同時にプライベートスタジオをオープン。2020 年 Xylomania Studio LLC 設立し、Dolby Atmos 対応にスタジオを改修。ASIAN KUNG-FU GENERATION、Official 髭男dism、ichikoro などのバンド作品から、クラシック、映画音楽、ミュージカルまで手がける。また、商業スタジオやプライベート・スタジオの音響アドバイスも手掛けている。

■ドルビーアトモス ミックス作品

- ・[Official 髭男 dism 「Universe 」+「 Official 髭男 dism ONLINE LIVE 2020 - Arena Travelers Blu-ray Disc Live Recording & Stereo & Dolby Atmos Mix](#)
- ・[Official 髭男 dism 「Editorial」+「 Official 髭男 dism FC Tour Vol.2 - The Blooming Universe ONLINE -」Blu-ray Disc Live Recording & Stereo & Dolby Atmos Mix](#)
- ・[僕らのミニコンサート@銀座王子ホール Dolby Atmos Live Recording & Stereo & Dolby Atmos Mix](#)
- ・[『国際女性デー音楽祭 | HAPPY WOMAN MUSIC FESTA 2021』 Dolby Atmos 生配信 Mixer](#)

沢口 真生 氏

■略歴



1971 年より NHK にてキングエンジニアとして芸術祭大賞・放送文化基金賞・IBC ノブドール賞・バチカン希望賞等の受賞作を担当し AES ips, ABU.JAS などから優れた業績と貢献に対して顕彰された。1985 年以降は次世代 HD-TV における音響表現として未開発であったサラウンド制作に取り組み海外からは「サラウンド将軍」と敬愛されている。2001 年より AES や東南アジアを中心にサラウンド制作ワークショップ・セミナー・技術発表を行ないアジアのサラウンド制作を推進。2005 年制作技術センター長として NHK 退職後 2007 年より高品質音楽制作 UNAMASレーベルを立ち上げ制作アルバムは、配信各社を通じて行なっている。日本プロ音楽録音賞ではハイレゾ部門で 2013 年、2015 年、2016 年受賞し続く 2017 年 2018 年、2019 年と同部門最優秀賞と BEST STUDIO 賞受賞。2014 年からは 11.1CH 没入感サラウンドによるアルバム制作に傾注しその成果は、2018 年 8 月の AES INT CONFERENCE Spatial Reproduction にて発表。

■ドルビーアトモス ミックス作品

- ・UNAHQ 2010 Dimensions Yuki Arimasa Inspired by Bach/Debussy and Beethoven
- ・UNAHQ 2011 A.Piazzolla by Strings. Oboe UNAMAS Piazzolla Septet
- ・UNAHQ 2012 P.I Tchaikovsky op-70 Souvenir de Florence UNAMAS Strings Octet
- ・UNAHQ 2014 The Touch of Contrabass UNAMAS Strings Septet
- ・UNAHQ 2015 Viva! Four Seasons-A. Vivaldi Concert NO-1-4 UNAMAS Strings Sextet
- ・UNAHQ 2021 UNAMAS Awarded Best Various ほか 15 アルバム
全作 UNAMAS レーベルよりリリース

■公式サイト

[UNAMAS レーベル公式 WEBSITE](#)

深田 晃 氏

■ 略歴



CBS/SONY 録音部チーフエンジニア、NHK 放送技術局・番組制作技術部チーフエンジニアを歴任。あらゆるジャンルの音楽に関わるが、主にオーケストラレコーディングを担当。1997年、AES NYで「Fukada Tree」を発表後、多くのサラウンド番組制作・国際共同制作に関わる。2011年 dream window inc. を設立、アーティストCD、映画のスコアリング、クラシック音楽録音、マルチチャンネル音響作品制作や空間音響デザインを行っている。AES Fellow IPS 英国放送音響家協会会員、JAPRS 日本音楽スタジオ協会理事、米国レコーディングアカデミー（グラミー）会員、洗足学園音楽大学 音楽・音響デザイン客員教授。

■ドルビーアトモス ミックス作品

- ・新日本フィルハーモニー管弦楽団 ベートベン交響曲7番他
- ・Bach 平均律庫クラビーア曲集第2巻全曲（9月リリース予定）

■公式サイト

[dream window inc. ホームページ](#)

Carlton Lynn 氏

■ 略歴



レコーディング/ミックス・エンジニア。アトランタをベースに、TLC、Usher、P!NK、Chris Brown、Leona Lewis、etc...アメリカやイギリスを始めとするトップアーティストの作品に多数参加。POP、R&B、ROCK、HIPHOP等様々なジャンルを手掛けてきた。1999年に発表され全世界で1000万枚以上のセールスを記録した(日本でも100万枚のセールス) TLCの3rdアルバム『FANMAIL』ではメインエンジニアの1人として Best R&B Album でグラミー 賞を受賞。また、このアルバムからシングルカットされた『No Scrubs』は全米 No.1 に輝き、この作品でも Record of the Year としてグラミー賞を獲得している、マルチプラチナムエンジニアである。現在はグラミー賞を主催する NARAS のメンバーとして、グラミー賞の選考投票にも毎年参加している。トップクラスのプロデューサー、アーティスト、ミュージシャン達と数多くのセッションを通し 最高レベルのサウンドを熟知。豊かな経験と優れた技術、そして親しみやすい人柄で、クライアントから揺るぎない信頼を得ている。2016年より東京を拠点に活動。

■ドルビーアトモス ミックス作品

- ・[Alisa "Boundaries -SET A-"](#)

■公式ホームページ

[LOTUS LLC 公式ホームページ](#)

入交 英雄 氏

■略歴



1956 年生まれ。1979 年九州芸術工科大学音響設計学、1981 年同大学院卒。2013 年残響の研究で博士（芸術工学）を取得。1981 年（株）毎日放送入社。映像技術部門、音声技術部門、ホール技術部門、ポスプロ部門、マスター部門を歴任した後、2017 年より(株)WOWOW へ出向。2020 年より WOWOW エグゼクティブ・クリエイターに就任。1987 年、放送業界初となる高校野球ドルビーサラウンド放送プロジェクトでシステム開発と作品ミックスに関わる。2005 年より ARIB 委員、民放連委員を通じて放送のラウドネス問題の研究、及び規格化に尽力した。学生時代より録音活動を行い、1980 年に制作した学生時代の 4ch 作品制作から数え、半世紀に亘り空間音響について探求を重ねている。現在では WOWOW において 3D オーディオ録音の技術開発と共に、精力的な制作や学会発表、普及活動を行っている。個人的にも入間次朗の名前で音楽制作活動を行い、花園高校ラグビーのオープニングテーマや PC ゲームのロードス島戦記などを担当した。

■ドルビーアトモス ミックス作品

- ・富田勲・源氏物語幻想交響絵巻 Orchestra recording version 藤岡幸夫 指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団/ RME Premium Recordings RME-0015 ボブジエームス・Feel like make'n live / EVOLUTION LIMITED (2021/10 リリース予定)
- ・月の沙～BLOOM OF SOUND Immersive Audio Reference Disc 内 / 非売品
- ・MKOTO NAKURA・バッハ シャコンヌ/DOLBY ATMOS DEMO DISC 内 / 非売品

浦本 雅史 氏

■略歴



Aobadai Studio チーフ・エンジニア/サウンド・プロデューサー。サカナクション、Eve、KID FRESINO などの作品に携わる。サカナクションのライブでは、マニピュレーターも務め、バンドの表現にさまざまな側面から深くかかわる。

■ドルビーアトモス ミックス作品

- ・サカナクション/ [「SAKANAQUARIUM 2019 "834.194" 6.1ch Sound Around Arena Session -LIVE at PORTMESSE NAGOYA 2019.06.14-」](#)

以上

ドルビーラボラトリーズについて

ドルビーラボラトリーズ（NYSE：DLB）はサンフランシスコに拠点を置き、世界中にオフィスを構えています。映画やテレビ番組から、アプリ、音楽、スポーツ、ゲームに至るまで、ドルビーは視覚と音の科学で、世界中の何十億もの人々に素晴らしい体験をお届けします。アーティスト、ストーリーテラー、開発者、企業と提携し、ドルビーアトモス、ドルビービジョン、ドルビーシネマ、ドルビー.io によって、エンターテインメントとコミュニケーションに革命をもたらします。

Dolby, Dolby Atmos, Dolby Vision, Dolby Cinema, Dolby.io, およびダブル D 記号は、アメリカ合衆国と/またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの合法的権利保有者の所有物です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Dolby Japan 株式会社

金重 聡一郎

Tel: 080-8824-7889

Email: soichiro.kaneshige@dolby.com